

SS 研 教育環境分科会 2019 年度会合
つながる拡がる LMS -次世代教育・学習支援環境のススメ-

～ SS 研究会員機関にご所属の方なら、どなたでもご参加いただけます ～

■ 日時 : 2019 年 10 月 24 日(木) 13:30～17:50 (受付 13:00～) 注) 昨年の土曜午前開催から変更しております。

■ 場所 : ANA クラウンプラザホテル神戸 [兵庫県神戸市中央区北野町 1 丁目]

■ 開催趣旨

LMS が日本の大学に導入され始めて 20 年が経ち、多くの大学で教育の基盤システムとして活用されるようになってきました。本分科会でも、LMS の利用を前提に、システムとコンテンツの両輪をもって大学教育の高度化を考えるという活動をしてきています。

今回の会合では、現在の LMS のシステムとしての可能性と課題を考えるため、NGDLE (Next Generation Digital Learning Environment), LTI (Learning Tools Interoperability), LRS (Learning Record Store) をキーワードに 3 件の講演を行います。さらに、それを受け、次世代の学生にとって LMS がどのように受け入れられ活用されるのか議論を広げていきたいと考えています。

■ プログラム (予告なく変更する場合がございます。あらかじめご了承下さい。)

※当日は講演概要のみを配付します。詳細資料は Web サイトからダウンロードして下さい。-敬称略-

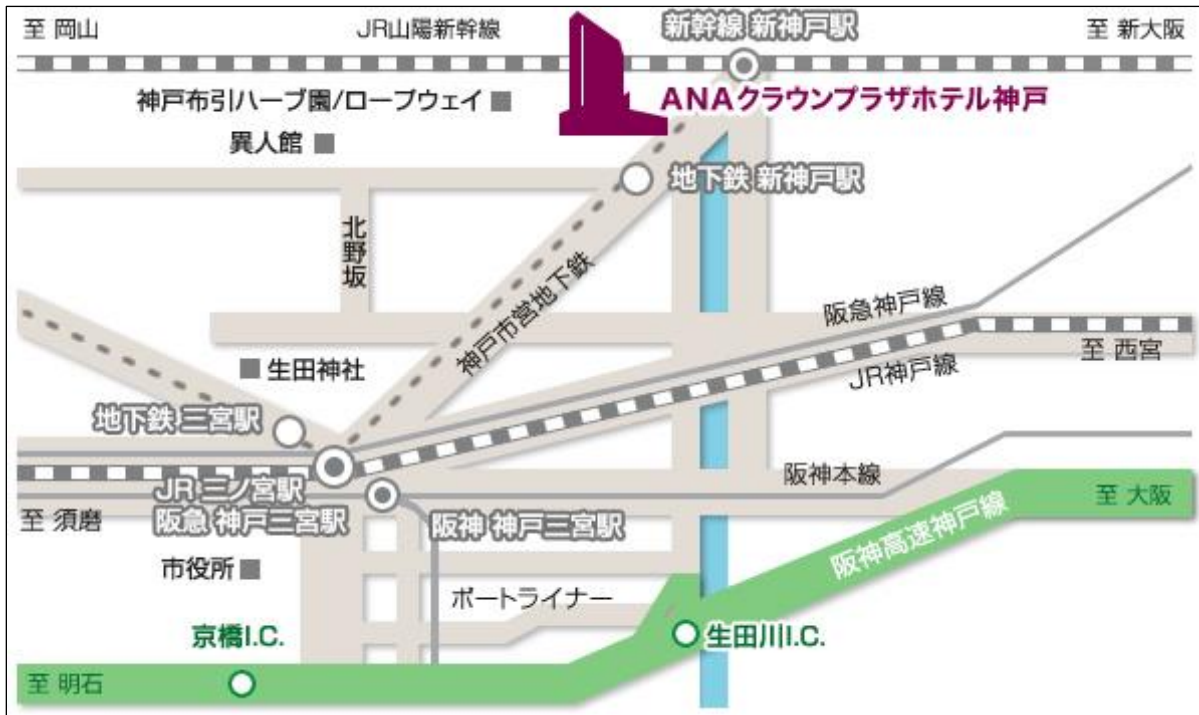
13:00～	受付
	[司会] 隅谷 孝洋 (広島大学)
13:30～13:35	開会趣旨説明 隅谷 孝洋 (広島大学)
13:35～14:10 講演 35 分	[1] 「個別最適化されたパーソナル学習を実現する次世代電子学習環境と IMS 技術標準」 山田 恒夫 (放送大学) Society 5.0、人生 100 年時代など、さまざまな未来が語られています。共通する要素として、多様性や多元性を前提に生涯にわたって主体的に学びを継続すること、ひとりひとりの個性や目標に応じた、公正で個別最適化されたパーソナル学習を実現することがあります。そのためには、人工知能 (AI) とともに、複数の教育情報システムからデータを収集しビッグデータとして再利用する技術、散在するリポジトリから必要なリソースを選択し、最適な学習環境と学習過程を構成する技術が必要です。こうした次世代電子学習環境をエコシステムとして構築するには相互運用性が必要です。相互運用性を保証する IMS Global Learning Consortium の技術標準について、その概要と導入事例を紹介します。
14:10～14:45 講演 35 分	[2] 「LTI1.3 および LTI Advantage の概要と課題 -日本における適用可能性-」 常盤 祐司 (法政大学) LMS が標準装備していない機能を補完するシステムやサービス、あるいは大学独自で開発した教育支援ツールを LMS と連携する際に、IMS GLC が策定する技術標準である LTI が多く利用されている。IMS GLC では 2018 年に LTI v1.3 および LTI Advantage を発表し、セキュリティの強化と機能の整理を行った。本講演では最新の LTI の概要を説明するとともに、この標準を用いて LMS の Canvas と GitHub で公開されている PHP デモプログラムを連携した事例を紹介する。
14:45～15:20 講演 35 分	[3] 「Learning Analytics の研究と実用化 -学習履歴の収集・分析・活用-」 田村 恭久 (上智大学) LMS は教材やクイズを蓄積・配信するだけでなく、学習者の履歴を自動的に蓄積する機能があります。これを分析し、学習者や教員向けに活用する学習履歴分析 (Learning Analytics: LA) の研究が盛んで、その成果は現場でも活用されはじめています。LA を用いて適応型学習や退学予兆予測が実現できます。また、学習者の振る舞いや生理情報を利用するマルチモーダル LA の研究も盛んになっています。講演ではこれらの動向をご紹介します。
15:20～16:20	休憩・展示見学(60分)
16:20～16:45 25 分	[4] 指定討論 村上 正行 (大阪大学)

(裏面に続く)

16:45~17:45 60分	[5] パネルディスカッション 「つながる拡がるLMS -次世代教育・学習支援環境のススメ-」 ファシリテーター：村上 正行（大阪大学） パネリスト：山田 恒夫（放送大学）、常盤 祐司（法政大学） 田村 恭久（上智大学）
17:45~17:50	閉会挨拶 喜多 一（京都大学）

■ 会場

ANA クラウンプラザホテル神戸



- 所在地 〒650-0002 神戸市中央区北野町1丁目 TEL:078-291-1121(代表)
- アクセス ・JR 山陽新幹線・神戸市営地下鉄「新神戸駅」直結
・三宮（JR・阪神・阪急・ポートライナー）より神戸市営地下鉄でひと駅

■ ご参加について

- 参加対象：SS 研究会機関にご所属の方なら、どなたでもご参加いただけます。
- 参加費：無料

■ 宿泊について

- 宿泊の手配は各自でお願いします。神戸地区の手配が難しい場合は他地区もあわせてご検討下さい。

■ 詳細・お申し込み

SS 研 Web サイトからお申し込み下さい。(9 月下旬から受付開始)

<http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>



【お問合せ先】サイエンティフィック・システム研究会(SS 研) 事務局
〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
富士通(株) カスタマーリレーション部内
Email: sskn-office@ml.css.fujitsu.com
URL <http://www.sskn.gr.jp/MAINSITE/>